

沼間小学校区地域連合会(住民自治協議会) 第4回代表者会議 議事録

1. 会議概要

- (1) 日時: 2018 年 8 月 25 日(土曜) 15 時 00 分～17 時 00 分
- (2) 場所: 沼間小学校区コミュニティセンター学習室
- (3) 出席会員: 25 団体 / 所属会員 33 団体 = 76 % [会議成立]
- (4) その他出席団体
協力団体(沼間小学校、社会福祉協議会、東部地域包括支援センター)
逗子市 (平井市長、沼間小学校区地域担当職員他)
逗子市会議員(松本氏、田幡氏、)

2. まとめ、決定事項

- (1) 上桜山商店街の街灯の件の対応について、役員会から 2 週間以内に、対応可否の連絡をする。
- (2) 役員会の運営ルールを明確化(議題上程方法、役員会運用)する。

3. 開会 挨拶 [曾志会長]

- ・まだまだ、残暑厳しい折、集まって頂き有難うございます。
非常に暑いので、効率良く会議を進め、(勿論しっかりと議論をして)、早めに終わりたいと思いますので、ご協力お願い致します。

4. 議 題

4. 1 協議会活動

(1) 主要道路渋滞緩和の取り組み [桜和会 小林氏]

- ・ヨークマートから沼間会館までの、東逗子商業会さんの街路灯に、バナーフラッグを取付けようと活動しています。現在、調査をして 30 カ所程のデータを取り、県土木への提出書類を作成しています。書類ができた時点で、まずは市民協働課さんと擦り合わせ、今月中に県土木の方と一回、相談をしたいと考えています。それから県土木の方と何回か調整・変更を繰り返すことになります。
- ・ただ、まだ何カ所やるか正式に決まっておらず、来週中にバナーフラッグの再見積もりを取るつもりです。それを基に、何カ所設置するか決定したいと思います。また、バナーフラッグのデザインは、以前の案に挙げたもの(電柱幕と同様)で、対応致します。

(2) 崖崩れ注意箇所対策について [磯部事務局長]

- ・5ヶ所の崖崩れ注意箇所について、市に要望を出しました。それに対し、市から現状調査とできそうなことについての回答を頂きました。それを、5つの町内会、自治会の会長さんに、ご連絡致しました。
- ・神武寺谷戸町内会に関しては、既に県土木の方まで話が行っているということで、今後は進捗情報の共有をさせて頂きたいと思います。
- ・東町内会の崖崩れに関しては、土地所有者の方で仮対策は実施したようですが、これから先、本格対策を考え、一緒にやっていきたいと思います。
- ・倒木 2 つに関しては、市の方でどの木が危ないかということを報告致しました。
- ・五桜会に関しては、まだ話を始めていないので、早速、来月から話をして、進めたいと考えています。

(3) 東逗子駅前ロータリー美化・活用について [工藤副会長]

- ・駅前ロータリー美化活動ですが、先日花が枯れてしまい、植え直しを致しました。この暑さでは、また枯れていくと思います。雑草もだいぶ抜きましたが、どんどん伸びてしまいます。

花壇の手入れ、水やり等に等しい、近くの高橋さんと打ち合わせながら、やっていきたいと思っています。
・また駅前ロータリーが夜間暗い件は、消防署、都市整備課とも話しました。用地の所有者はJRであり、東逗子駅前に
ついては、逗子市とJRとの利用に関する覚書がなく、JRが対応するしかないとのことでした。
再度、逗子市と話し合った所、JRと交渉し、照明の設置をお願いするのが良いとのことになりました。
平井市長とJRの懇談会がこれから有るとのこと、その際にこの件を話して頂く予定です。

(4) 沼間小学校通学路の児童見守り活動について〔東逗子子供会連合会 曾志光子氏〕

- ・8月に沼小の校外委員の方々と、話し合うことができました。
- 9月に開催される校外委員会にて、PTA、校外委員の方々に、私たちの作成案について話合頂くことになりました。
今の旗振りの状況、実施箇所の増減等に対する回答を頂くことになっています。
- ・この春、当会では防犯パトロールのステッカーを作りませんでしたが、今後は、沼間小学校区の方で作って頂いたら
助かるとの提案が出されています。

【森谷副会長から】

- ・逗子市防犯協会には、地区毎に防犯指導員が選任されていますが、当沼間地区には一人もいないので、是非出
したいと思っています。給料、報酬等は出ませんが、制服は貸与され、万一の際の傷害保険も掛けて貰えます。
- ・自薦、他薦を問わず、誰か候補者はいませんか？
各町内会、自治会の中でお話頂き、必用でしたら説明に参上致します。ぜひ宜しく、お願い致します。

(4) 上桜山商店街の街路灯の件〔桜和会 小林氏〕(別紙資料)

- ・主要道路渋滞対策の一環として、県道24号線沿いの上桜山商店街の街路灯にバナーフラッグを付ける検討を進め
る中で、上桜山商店街が設置した街路灯が老朽化し、4年位かけて全撤去することが分かりました。
- ・先日、上桜山連絡協議会として、街路灯の調査をしました。上桜山商店街設置の街路灯が70灯ほど有る中、その内
の20%程度が現在消灯しており、明るい所も在りますが、薄暗い所も出てきてます。それら街路灯が全撤去されると、
真っ暗になってしまう所が発生し、非常に危険と考えます。
- ・そこで上桜山連絡協議会として、当連合会の先週の役員会に、「上桜山地区の街路灯の運用について」との提案書
提出しましたが、受け入れられませんでした〔小林氏〕。

【Q&A】【書記 注】 逐一やり取りを記載しても判り辛くなり、以下双方の趣旨を要約して、記載致します。

Q1-1: 提案書が受け入れられなかったのは何故か？

- ・先週の役員会に、提出した提案書が、受け入れられない理由は何ですか？
受け入れる、受け入れないとかの返事位は、あっても良いのではないですか？〔小林氏〕

A1-1: 受け入れられなかった訳ではありません。

- ・当件は、先週の役員会にて話が有りましたが、会長を始めとして役員5名も休んでおり、そこで決めるのはでき
ないとなりました。
- ・また、頂いた文章は、「詳細は決まっていますが、一緒にやりましょう」との文面で、何も決まってない所で、一緒
にやると約束するのは、良くないと考えました。そこで当日の役員会では、現状及び不明内容の確認が必用であり、
後日曾志会長から上桜山連絡協議会さんに、確認連絡を入れることにしました。
- ・席上では提案趣旨を理解する意見は有り、受け入れないとか、やめるとかの話は一切出てません。現状調査もし
ておらず、どの程度の費用が必用かも不明な状況下で、その場ですぐ「この手紙結構ですね、やりましょう」とはな
りませんでした。詳細をある程度考えないと、やると決断し、返事することはできません〔磯部事務局長〕。

Q1-2: 役員会の役割、運用規定はどうなっているのか？

- ・役員会の運用規定はどうなっているのですか？役員会は何名出席なら有効とか、誰々が居ないと決められないと
かどうなっていますか？副会長も事務局長も居たのに代行できないのですか？〔小林氏〕

A1-2: 今回の提案は受け入れられなかった訳ではなく、以下の二つ理由で公式回答が出せていません。

- ① 提案内容の不明点: 当連合会として、課題の現状確認ができてない。提案内容が何を求めているか良く
分からない。何をいつまでにしたら良いか分からない。
- ② 検討が不十分: 会長を始めとする5人の役員が不在な中で、検討が十分できないこと。
・提案内容について、確認及び検討の時間を頂きたい思います。

Q1-3:役員会への資料提出及び回答をもらえる期間は？

・役員会で検討し、回答を頂くには、どの程度の期間が必需ですか？〔小林氏〕

A1-3:2週間程度は必要です〔磯部事務局長〕。

・それでは、2週間後に回答をお願いします〔小林氏〕。

〔その他コメント等〕

・役員会に出席された方は？どのような議論がありましたか？〔曾志会長〕

→席上では、道路が暗くなるのは好ましくなく、提案の趣旨は理解できるが、現状が良く判らず、何をなすべきか、当連合会に対して、具体的に何が求められているか良く分からないので、会長から確認連絡を入れることになりました(江連書記)。

・私は商店会代表ですので、その面からお話します。今話されている件は、どういう所に落としたいのか、ちょっと見えない感じがします。

商店会の責任で設置した街路灯は、その運用、維持管理費用だけでなく、撤去も含めて商店会の責任で負担することになります。上桜山の街路灯は老朽化しており、既に切れている所もあり、また灯具が錆びてぐらつく所もあるようで、事故があると責任問題になります。万一の事故に対応する保険も当然掛けられていますが、保険料も毎年高くなり、街路灯の維持管理費用も増加しています。

一方、上桜山商店会では、高齢化、零細化の流れの中で廃業し、どんどん会員が抜けていって存続できなくなっている状況があります。そのような中で、上桜山商店会は、結論として廃止を決めたと思います。本来撤去も一斉に行えれば良いのですが、撤去が4年となっているのは、分割で負担するからとのことです。

商店会側からすれば、皆さんから街路灯撤去で町が暗くなり安全が維持できないとの声を頂けるのは、我々の取組が正しかったということで、たいへん心強い話です。さらには、「補助金が無くなり、街路灯の維持管理ができず、撤去され暗くなるは非常に困る」との地域住民の声があれば、県や市に言い易くなります(森谷副会長)。

・決まっているのは、4年後に上桜山の街路灯が無くなってしまふことで、そうならない様に、地域の人間として考えていくべきで、それについての協力を求める提案書です。今後の対応検討の中で、データ取りをしたり、市や県への陳情を考えたりして、行政と話し合っていきたいと考えています。この趣旨を沼間小学校校区連合会として、取り入れて一緒に考えて頂けるのか、頂けないのか、はっきりとした返事を頂きたい〔小林氏〕。

Q2:崖崩れ対策について、東逗子会館裏の崖崩れは、どうなっているのですか？〔マイキャッスル三番館 内田氏〕

A2:市は5ヶ所全てについて、認識をしています。さらに、この件は、既に市の方にどの木が落ちそうで危ないか伝えてあり、対策を要望しています〔磯部事務局長〕。

〔5)防災対応力向上〔防災備品融通 高橋徹氏〕

・災害時に融通可能な防災備品の一覧表纏めを進めています。去年の暮れから毎回お願いしていますが、まだ半分程度しか提出頂いてません。毎回外の廊下に袋を用意してありますので、できるだけ早く出すようにお願いします。

・避難所ニュース No3 を取りに来てない所もあり、市の防災安全課と一緒に訪問し、再度お願いするつもりです。

それでも提出されない所は、それなりの理由があるかと思しますので、提出頂いた内容を基に資料を纏め、12月末を目途に発行致します。

4.2 地域づくり計画策定・実施(別紙資料)

(1)現況〔磯部事務局長〕

・この件は、昨年9月に地域づくり計画策定委員会を設定して、活動を行っています。

先日、地域づくり計画の予告編について、代表者、関係団体の方に、A4一枚の資料を郵送させて頂きました。

・本日は、「地域づくり計画」1)活気のあるまち ということで、A4、二枚綴りの資料を配布させております。

今日は第一回で、これから毎月、こういった形で代表者の方にお配り致します。主要取組事項は、太字で記載した項目になります。目指す地域の姿ということで、1)活気のあるまち、2)互いに気遣うまち、3)子育てに適したまち、4)安全・安心なまち、5)豊かな自然と住環境を大切にするまち を挙げております。

(2)今後の展開〔磯部事務局長〕

・この地域づくり計画は、今年度末までには纏め上げるよう進めていきます。

ここで大事なことは、地域づくり計画はできた物を配るのではなく、現在作っている最中との認識です。但し、当連合会(協議会)活動は、計画中の活動の一部として掲載しており、既に動いている形で説明させて頂いています。

・これから開始する各事業については、それぞれ担当が決まっており、準備ができた時点で、この代表者会議でご説明致します。皆様の承認が得られ時点で、活動を始めさせていただきます。
さらに、事業に関して足りないものがあるとのことご提案は、歓迎致します。

(3)「互いに気遣うまちづくり」〔沼間一丁目自治会 高橋氏〕(別紙資料)

・ここ最近の高齢化や一人世帯の増加から、隣近所の助け合いが希薄になってきており、平時の近所での互助の充実を狙った、昔あった隣組のような活動を、普及させたいと思っています。
・本来、沼間小学校校区全体で取り組むべき活動ですが、全世帯が5,800世帯もあり、一気に取り組むのは非常に大変です。また、私の住む沼間一丁目では、このような活動ができていないので、まずは沼間一丁目から活動を始めてみます。
・プランとしては、資料1枚目の「小さなお手伝い」という協力要請資料を自治会内で回覧し、サポーターを集めて、支援チームを作成します。その後、資料2枚目の「助けられ上手になりましょう」との資料を配布し、助けて欲しい方々を確認しようと思っています。助けて欲しくてもなかなか言い出せない方々も居られると思います。この資料は、自治会員のみならず、全世帯に配ります。こんな活動を、今後進めていきます。
進捗状況については、またお話し致します。

【Q&A】

Q1:・この件は、活気のあるあるまちづくりの中の項目ですか？これはやると決めたのですか？〔桜和会 小林氏？〕

A2:これは、互いに気遣うまちづくりの中の項目です。

実施については、今ここで、やるか、やらないかの議論をしています〔磯部事務局長〕。

Q3:これは災害時だけの活動ですか？〔小林氏〕

A3:災害時の取り組みについては既にあるので、逆に平時の取り組みの充実です〔高橋氏〕。

【その他コメント等】

・他の町内会、自治会でも、同様の活動があるかどうか、高橋さんの方で調査と報告をお願いします〔磯部事務局長〕。

・私は2年前からズシップのお手伝いもしています。市とズシップと社協も、このようなサポートをしようとしています。

この活動では、一時間500円程度の安い費用で、サポートすることを一年半位前から、やり始めています。

それぞれの活動を把握し、相互に連携し、全体の調和を取りながら、地域全体に広めていくことが重要かと思ひます

〔興人東逗子自治会 山中氏〕。

⇒社会福祉協議会でお互い様という活動を実施していることは把握していますが、知らない方が多いのが実態です。近所の繋がりを重視したこの活動が、沼間一丁目を始めに、沼間地域全体に広まっていくことを狙っています〔高橋氏〕。

・社会福祉協議会とワーカーズユニオンさんとズシップさんの三者は、この4月から「訪問サービスB」と言う、安い費用で面倒を見る活動を始めています。沼間地区ではサポーターチームも多く在りますが、高橋さんの話は、小地区、昔ながらの向こう三軒両隣といった、日頃の助け合いを中心にした隣近所の繋がりを重視したものを構築しようとしています〔社会福祉協議会 三富氏〕。

・支援を受ける方々の、それぞれの家庭状況が有ると思います。それによって社協さんのものをお勧めするのが良いか、それともお隣の方に相談するのが良いか、それはなかなか判断が難しく、且つ責任の重いことです。そういうことも踏まえて、まずは高橋さん中心に沼間一丁目を開始し、状況を発表して頂ければ良いと思います〔曾志会長〕。

4.3 逗子市総合計画について〔磯部事務局長〕(別紙資料)

・逗子市総合計画は、市の上位にある大きな計画です。これは、基本構想は24年間、実施計画は8年間でできており、これに基づいて、いろいろな計画が進んでいます。今年は節目の年に当たり、前期実施計画8年間で来年度から始まります。それに対して、進捗状況は毎年チェックされていますが、今年はそれに加えて、計画に対して一部見直しが必要かどうかといった議論を進めています。

・今年度は3回の審議会が開催され、それなりの結論は出しました。それに対し、逗子市がどのように受け止めるか、これからの話で、11月頃の最終審議会で結論が出ると思っています。

・この計画は、変えないことが基本方針になっています。但し、震災等の大きな環境変化があった際は変えようとの議論をしました。これから逗子市の回答が、市議会に対して出てきますから、その時にどのようなことになるか、その都度お伝え致します。

・資料裏面、上部表の左側に基幹計画評価という、ABC評価が記載されています。基本はBで、Aは完璧に進んだ、

Cは遅れているとの評価です。全体として、十分それなりの成果はあったとの結論が出てます。
・下欄は総合計画審議会の意見で、それぞれ議論終わっており、これから纏めていくことになります。

【Q&A】

Q1:この報告書は、どこが主体で出しているものですか？〔神武寺谷戸町内会 矢田氏〕

A1:逗子市企画課が出した物です。それを抜粋して、纏めたものです。〔磯部事務局長〕。

逗子市役所のホームページに、全文が掲載されてますので、参考にして下さい〔逗子市 村松氏〕。

5. 平井市長との懇談

(1) 駅前広場の活用について(別紙資料)

皆さんこんにちは。今日は、東逗子駅前用地の活用がどうなっていくのかを中心に、ご報告させていただきます。

【本配布の資料中に、駅前用地活用地図が有りますので、ご参照ください〔逗子市 村松氏〕】

・東逗子駅前用地は1800㎡ほどありますが、25 年程前、逗子市が JR 移行の際に国鉄清算事業団から公共用地として買い取ったものです。今、所有権は、市の外郭団体である土地開発公社が持っています。約5億円を銀行から借入れて、公社が地代を払いました。逗子市では、毎年利子分を予算化し、土地開発公社を補助し、公社から銀行に利子のみを支払っています。ということで、元本はそのまま、ずっと残っている状態です。

・約 20 年前に、最初の活用計画が挙がりました。下階に公共施設と民間商業施設を設置し、上階を神奈川県住宅供給公社が住宅分譲する、三者の複合計画として、一旦事業化されようとしていました。ただ 20 年前は、地域住民の方々との合意形成が上手く図られておらず、計画は頓挫し、住宅供給公社は撤退しました。

その後は、暫定的に、簡易建造物を建て、学童保育や子育て支援拠点として使った一方、ふれあい広場という地域コミュニティの拠点として、色々な屋外イベントに活用頂いています。

・東逗子駅前開発では、先に話が有った「逗子市総合計画」の前期計画8年間の中で、東逗子駅前用地活用が重点課題に位置づけられています。市の目標としては、4 年後の 2022 年迄に利用計画を作り事業化をして、東逗子の中心として、活性化のために、非常に意義有る事業をしていこうとしています。

・今年の 3 月に、市役所庁内プロジェクトとして、関係部署の次長クラスで集まり、まずは公共施設としての役割、機能は何か必要かということで、叩き台の案を纏め始めた段階です。この開発は、土地代約 5 億円で、規模にも拠りますが、建物、周辺施設を入れると 15 億円程はかかる事業であり、民間資本を上手く活用しないと対応できません。

どのようなプランで実施すると費用面や公共的機能面で効果的か、地域全体で活性化するにはどのように開発するか等市内部で事業プランを調査しています。公共施設で何を持ってくるか、お金も含め民間事業としてどういったものを持ってくるかが、二つの大きなポイントになります。

・できれば今年中に、活用構想案を纏められればベストです。全部が順調にいても、2022 年の着工となります。

年内くらい迄に、少し叩き台になるものを取り纏めて、東逗子の皆さんにお示ししたいと思っています。

・また、地図に記載されるように、地形はL字型となっており、道路に面した商店数店を含めて再開発できれば、更に使い良いですが、地権者との調整もあり、上手くいくかは分かりません。更に、東逗子駅前開発では、駅前ロータリー、北口改札の開設、公共交通の導入も含め課題が山積です。今後の逗子市の発展のためには、子育て支援や高齢者支援の施設も検討したいと思います。なお、この沼間小学校区コミュニティセンターは、沼間のはずれにあり、利便性の面で移転し、沼間中心部に移したいと思っています。

・新たな建物を建て、周辺整備をするのに、また多大な資金が必用ですので、開発は民間業者の力を活用しないといけません。現在、民間業者の意向調査(サウンディング)を計画してます。

(2) 総合的病院誘致について

・沼間の開発には、東逗子駅前用地活用と併せて、総合的病院誘致も柱となり、これも 2022 年中の開院が目標になっています。現在募金は、8月に県から 109 床の病床認可を受けましたが、市の公募条件である 200 床には、まだ不足しており、最終的には 300 床を目指すことになってます。最低でも 91 床以上の確保が必要ですが、まだ、目処が立っている訳では有りません。

・2022 年の目標が、東逗子駅前広場活用と病院開設が、同時並行で進んでいくことになります。病院開設が確実になれば、人や物の動きが活発になり、駅前に進出する民間事業の採算計画も大きく影響を受けるので、双方にらみながら、進める必要があります。これは、50 年に一度のチャンスであり、用地活用と病院開設の事業プランをしっかりと策定し、是非、東逗子全体が盛り上がる起爆剤にしていきたいと考えています。

【Q&A】

Q1: 返子市の財政悪化について〔桜和会 小林氏〕

・市の財政悪化で、今年度予算は大幅に減らされ、住民は色んな面で負担を強いられ、同時に行政の方々も給与等の削減がなされていたが、そちらの方は元に戻されたと聞いています。
財政6億円程が不足し、緊急対応中と聞いていましたが、最近は何らかの形で少し補填され、埋まってきたとの話も聞きました。財政の改善と併せて、我々への負担はどの位の期間で戻せるのか？戻せないのか？予想を聞かせて下さい。

A1: ・給与削減は戻されていません。少なくとも平成30年、31年の2年間は、組合の了解も取り、削減されています。

・財政悪化は、去年の予算編成時に財源が7億円位足りないということで、緊急財政対策を実施し、かなり事業を絞り、人件費も絞り、新規事業もできず、という状況で、平成30年度の予算を組みました。この沼間小学校区コミュニティセンターの利用時間も、木・金曜日以外利用時間の短縮をする等の財政対策を行いました。

・去年の財政が一気に厳しくなったのは、平成28年度決算で、予定していた繰越し金が6億円程ショートしたのが原因です。毎年200億円位の予算規模で、10億円位余り、翌年に繰り越せていたのが、昨年は4億円位しか繰り越せず、一気に6億円なくなっていました。

・今年は、繰越金が8億円出ており、その内最初に3億円使いましたが、5億円は余剰財源として今有ります。それを財政調整基金とし積んで、無くなった貯金をなんとか積み増していけるとの目処が立ってきたので、財政的には、今年のベースを何とかキープしつつ、少し余力を蓄えて安定してできる状況にはできそうだ、ということになってきてます。

・そこで、来年度に向けた取捨選択を、今まさに検討しているところです。削りに削ったものを、何をどこまで、どの程度戻すなり、できるのか、これからやめてしまうもの、一旦休止したけれど、元のように戻らなくても復活するものということを検討しています。

例えば、高齢者センターの浴場パイラーが壊れて、去年6月から休止してます。この復活を望む声はかなり強く、どういう形かまだ決まっていますが、これは何とか再開できるように手だてを検討しています。

また、子育ての関係では、小児医療費は返子市では小学校6年生まで助成してますが、この削減は良くないとのことで現状維持にて留まっていますが、早めに三浦半島の他の市町並みに、中3まではキャッチアップしたいと考えています。

予算編成時に、一つ一つの事業の必要性を吟味し、必要な所には付ける検討をしていくつもりです〔平井市長〕。

Q2: 何が悪くて財政が悪化したのですか？何が良くて財政が改善してきたのですか？〔沼間一丁目自治会 小林氏〕

A2: 基本的には、従来では、毎年、前年度の繰越し金10億円程度が余り、それを前提に予算を組んで、現状をベースに事業を組んできたのが、昨年はどんと減ってしまったからです。

これは、前年度繰越し金を前提に、かなりギリギリの状況で予算を組むんできたことが危機管理上の反省点です。これから先は、繰越し金を当てにしないで予算を組むことが必要です。公共施設がどこも老朽化している状況で、それらを改修しながら、維持していかないとならないことや、高齢化が一層進んでいき、ますます財政への需要が増えていく、そういったものへの対応が求められます。財政構造を一回切り替えないと、今後やり繰りができなくなるとの意識です〔平井市長〕。

Q3: 財政悪化の原因は？何かを間違えたから減った筈で、その何かを把握しないと改善できないのでは。

それは承知しているのですか？〔桜和会 小林氏〕

A3: 基本的には、福祉の面での充実です。子育てを取っても、増やしてきました。3年程前に桜山に保育園を増設しました。一つ保育園を作りますと、市の持ち出しが年間4000万円位、毎年増えています。4年前に中学校給食も始めました。それには毎年7000万円位、市の税金が必要になっています。いろんな子育てや高齢者の対応等必要なものは毎年、増えてきています。一方、人口は微減で収まっていますが、高齢化が進んでおり市民税の収入はどうしても右肩下がりになっています。出る方が増えて、入る方が減って、クロスしたのが去年の財政状況ということです。ということで、他市よりも手厚くしている所は、一旦絞って、繰越金を当てにしないで何とか予算を組む構造にスリム化しないと、この先持ち応えていくのが難しい状況です。それを今年度何とかするということで、ベースを作れたと思っています〔平井市長〕。

Q4: はっきり言って、市長の見込み違いということですね？〔曾志会長〕

A4: はい。簡単にいうと、そういうことです〔平井市長〕。

Q5: 入るものが入らず、出るものが増加しないと悪化しないのは当然ですが、予算編成は1年前だけでやるものではなく、数年間の推移を基に組むものです。前年度、前前年度、何がこれだけ減ったか、増えたか表にして見せてください。市長の見込み違いなどというのは、いい加減で全然なっていない〔神武寺谷戸町内会 矢田氏〕。

A5: 勿論、予算、決算についての数字は、纏めてあります。また、どこで何が増えて、何が減ったというのは、分析資料があります。手元に今、詳細資料がなく上手く説明できませんが、去年の緊急対策の際に、過去10年ほど推移を含めて歳入、歳出状況の変遷を纏めています。個別に事業支出の増加、市税の減少等は分析してます。それらを分析した詳細レポートが有りますので、言って頂ければ、市の財政課の方からお渡し致します〔平井市長〕。

Q6: 先程、総合的病院誘致の状況で、葵会が109床の病床は認可されたとの話でしたが、109床での病院は開設できるのですか？あくまでも200床、300床を目標に、先延ばししているということですか？〔グリーヒル自治会 渡辺氏〕

A6: 県としては109床で許可をしているので、病院としては、109床の計画に対して申請し、許可を得たということになっています。但し、計画用地は都市計画上、第一種低層住居専用地域で、病院が建てられない土地利用になっており、今年度、第一種住居地域への用途地域の変更手続きをしています。それは年度いっぱいかかります。それが終わった後に、逗子市では、良好な都市環境をつくる条例、まちづくり条例、景観条例という3つの条例手続きが必要で、これを全部やるのに1年半程の期間がかかります。後、2年から3年間は、建築関係の手続きをするのにかかります。

その間に109床から増床申請し、少しずつでも増床を進めます。毎年、県が病床の不足数を算定し直しています。今年度は、横須賀三浦二次医療圏では22床不足との報告が出ており、再配分が行われると思います。このエリアは高齢化しており、毎年病床ニーズが増えていくとの予測になっています。年間では80床位ずつ不足すると予測され、不足増加毎に申請、その内の幾つかを確保し、最低でも200床以上にして開設するという目標です。現在の確定は109床ですが、2、3年の間に200床は確保出来るとの見込みで動いています〔平井市長〕。

Q7: 本日、話が有った駅前広場活用の件は、事前に関連資料の配布をお願いしたいと思います。

前もって自治会内で協議しないと、私個人の質問、意見になってしまいます〔アーデンヒル自治会 手塚氏〕。

A7: 資料配布については、事務局の事前準備の問題で、今後気を付けます〔磯部事務局長〕。

・庁内プロジェクトでの予備検討資料は、市議会に提出しており、見ることは可能です〔逗子市 村松氏〕。

Q8: 財政が悪化し、予算が無い中で、民間資本を活用するといっても、駅前用地に建物を建てるのが、今本当に必要なのですか？ また、大規模商業施設が来るとすれば、地元の小規模商店をどう守るのですか？

病院建設は、109床では開設できないとの話であり、住民も暫らく時間がかかるとの認識でしたが、2022年を目指し、増床の十分な見通しが有るとは思えない中で、見込みで進めるのですか？〔アーデンヒル自治会 手塚氏〕

A8: 駅前用地については、5億円の借入金があり、毎年多大な利子補給をしており、有効活用が必須で、行政として、あのままでの活用はありえません。施設は、一定の公共施設の機能と併せ、その上で民間プランとして、この地域全体にとって適切なものは何かという検討を、これからする所です。民間事業は地元との利害調整は必要ですが、商業施設だけでなく、介護福祉事業や住宅分譲も考えられ、色々な可能性はあります。

お金の話も重要ですが、それ以上に、東逗子全体にとって、どういった民間事業がくれば、共存しながら、地域が盛り上がるかということの方が大切です。これから、皆さんと相談しながら、決めていこうということです。

・病院の増床は、あと91床がいつとれるかは、今はまったく不透明で、事業者として100%保障されない中で、そんな投資プランはできないということになると思います。今はまだ可能性の調査段階なので、今年の秋22床がどうなるのか、また来年80床位が募集されるのか、その辺が見えてくると、確率が100%に近くなってくると思います。

その頃には、民間事業が本格的にこういう提案ができるということで、募集のスケジュールに載ることができると思います。これがもし、予定よりも上手いかなかったら、東逗子開発のスケジュールも、急いでやる必要はなくて、1年、2年遅らせても、地域全体にとって両方の事業が上手く整備されることが、とても重要だと思っています。病院建設と東逗子開発の双方を上手く見極めながら、スケジュールを柔軟に考える必要があると思っています〔平井市長〕。

・これはお願いですが、住民のためになる民間資本を上手く導入し成功させるには、市がある程度方向性を決めて、イニシャティブを持って進めることを考えて頂きたい。

病院については、あまりできるできるという容易な考え方で取り組むのではなく、かなり厳しい状況だということが分かった上で、数年は我慢するという、慎重な姿勢で取り組んで頂きたい〔手塚氏〕。

6. 地域の団体活動について

6.1 自治会・町内会・管理組合からの報告：本日は時間が無く、割愛させていただきます〔磯部事務局長〕。

6.2 関係団体からの報告

(1) 沼間体育会から〔沼間体育会 深澤氏〕(別紙資料)

- ・10月7日に、沼間小学校で東逗子体育祭を開催致します。資料の回覧をよろしくお願いします。
子供会の人数が減少しており、一般の方も奮って参加願います。
- ・桜山体育会からも、協力頂きます。

(2) 桜山体育会から〔桜山体育会 高山氏〕

- ・桜山体育会も、東逗子体育祭開催に協力しています。

(3) デイサービス心から〔デイサービス心 代読 磯部氏〕

- ・7月に毎年恒例の流し素麺を実施し、参加者は27名でした。
ご利用者は大変喜ばれ、酷暑で食欲が落ちている方も、箸が進んでいました。

(4) 東逗子商栄会から〔東逗子商栄会 代読 磯部氏〕(別紙資料)

- ・東逗子駅前広場にて、9月2日(日)8:00~10:00に、朝市を開催します。ご来場ください。

(5) ホタルの里の会から〔ホタルの里の会 小林氏〕

- ・6種類のホタルがいることが確認されました。
- ・田越川の一斉清掃をまた実施致しますので、宜しくお願いします。

(6) ずし子ども0円食堂から〔ずし子ども0円食堂 草柳氏〕(別紙資料)

- ・8月1日(水)開催し、参加数は54名(大人26名、子供29名)で、カレーライス、パスタサラダ、フルーツポンチ、きゅうり漬け他提供し、大変楽しんで食べて頂きました。食後にスイカ割りを行い楽しい時間を過ごしました。
- ・関東学院大学から学生さん1名がボランティア参加頂き、男子児童はお兄さんと積極的に遊んでいました。
- ・今回、生後2ヶ月の赤ちゃん(過去最年少)連れの母親の参加があり、ぐずり出した赤ちゃんをスタッフが預かり、3歳の兄は機嫌良くママに甘えていました。これからも、どうぞ宜しくお願いします。

(7) 沼間小学校から〔沼間小学校 小島氏〕

- ・お世話になってます。今日の午前中、学校支援地域本部の事業として、草刈りを実施しました。
ご参加頂いた方、有難うございました。
- ・学校の方は、9月3日から再開致します。子供たちが、元気に戻ってくると思います。

(8) 社会福祉協議会〔社会福祉協議会 三冨氏〕(別紙資料)

- ・世話になっています。9月13日(木)にコミュニティソーシャルワーク基礎研修を逗子市福祉会館にて行います。
この地区でのサポーターチームは幾つも有りますが、皆さん色々な課題抱えています。どういった課題をどのように解決していくか、専門家に聞きながら、円滑に課題解決に繋がれよう、皆さんと一緒に、コミュニティソーシャルワーク技術について、勉強していきたいと思えます。宜しくお願い致します。

7. 行政からのお知らせ

(1) これからの住環境を考える〔逗子市 まちづくり景観課 須田氏〕(別紙資料)

- ・来月が本番で、9月22日(土)の代表者会議にて、詳しい説明と意見交換を実施させていただきます。
いきなりその日に説明してもお分かり難いと思い、今日は予告編ということで、簡単な紹介にお伺いしました。
- ・現在、市では、総合計画に基づく安全・安心、快適な暮らしを支えるまちづくりのための、魅力ある住環境を作る、「住環境形成計画」というものを進めています。それは、地域にお住まいの方々に密接な計画になってますので、本来は審議会の意見を聞いた上で計画を立てるのですが、それではあまり意見が入り辛いということで、この7、8、9月に各小学校区の住民自治協議会にお邪魔を致し、意見交換をさせて頂いています。

これまで、小坪と久木、池子、逗子は終了し、小坪ではかなり大勢の方が意見を出され、久木では、多数のアンケート結果を頂きました。逗子小学校区には住民自治協議会はなく、自治会、町内会、関連団体の方にお声かけし、先週18日に開催しましたが、予定時間を過ぎ2時間近くにわたり、活発な意見交換をさせて頂きました。
・チラシの裏に「住環境形成計画」について、簡単な説明があります。市内を4つのゾーンに分けて、それぞれの住環境についての方針を定める計画です。さらに詳しい資料は、この沼間小学校区コミュニティセンターにアンケートボックスを既に設置させて頂いており、そこで計画案のフルバージョンが閲覧頂けます。
また、市のホームページにも、計画案の全容を掲載致しておりますので、ご参照頂ければと思います。

(2)市のイベント紹介(逗子市 村松氏)(別紙資料)

- ・沼間小学校区コミュニティセンターでは、10月18日・11月1日に、フラワーアレンジメント・プリザーブドフラワーの体験レッスンを開催しますので、ご参加ください。
- ・9月29日(土)9:30~12:00に、第一運動公園にて、逗子市総合防災訓練を実施します。各自主防災組織の皆様には、別途連絡済です。各種訓練、はしご車試乗等の体験もありますので、是非ご参加ください。

8. 議員からの情報

- ・本日は、松本議員にお願いします〔磯部事務局長〕。

《松本議員から》

(1) 逗子市総合計画の件

- ・先程の総合計画の話では、大きな変化がない限り、変えないとのことでしたが、変えるべきと考えます。
それは、総合計画の大目標に、逗子市の人口維持が挙げられているのに対して、現在、逗子市では少子・高齢化が進み、どんどん人口が減っているからです。100人200人のレベルでも、人口が減りますと大変な減少率となります。事実、近隣の都市と比べましても、一昨年迄は、横須賀市に次いで逗子市はワースト2となっており、人口減少が著しくなっています。逗子市は住宅都市であり、人口減少は直接財政にダメージを与えます。
総合計画の審査は各論については勿論ですが、総論としてのこの人口維持という点も、是非ご議論、審査をして欲しいと思います。

(2) 市の財政の件

- ・また、財政についても、先程議論がありましたが、私の方から9月の段階で、財政についての問題、そして解決策をA3版の資料でお配りさせて頂きました。先程市長の方から言及がなかったのが、プリントにあります、私の方から、ざっと読みあげさせて頂きます。必要であれば、言って頂ければ後からお渡し致します。
国からの4つの交付金(利子割り、回答割り、株式譲渡割り、地方消費税)が予想を下回ったのが1.3億円です。
小坪市営住宅跡地の売却ができなかった1.2億円です。臨時財政対策債の起債ができなかったのが1.7億円です。
合計で計4.2億円になります。もう一つ例年と全く違う現象が有り、都市計画税を引き下げざるを得なかったという失態が有り、2.9億円の債務を失っております。
このような内容で、この20年来無かった財政への負担が生じたということになりました。

(3) 東逗子ふれあい広場の件

- ・東逗子駅前広場について、逗子市の方から出されている「東逗子駅前用地活用プロジェクトチーム報告書」という20ページ位のものがあります。議会に提出されたものですから、今2部有りますので必要でしたら言ってください。
これによりますと、社協の福祉会館や池子の高齢者センターを移す等々10以上の公共施設の可能性を検証しています。非常に沢山の公共施設や民間施設を誘致することを検討しています。今回のふれあい広場の土地は、非常に小さく、今の条例の中ではそこには6階建位しか建てられない中、どれだけ誘致が可能なのかと…。私は非常に厳しいと思っています。その中でも、皆様には是非検討して頂きたいのは、プロジェクトチームの検証の中では、ふれあい広場についての検証がなされていません。確かに数字では出されていない訳ですが、イルミネーションや七夕や朝市や皆様沢山の広場をご利用されています。そこについての対象は、数字にはできませんが、皆様にとって非常に重要なものと思います。今のうちから、ふれあい広場の位置付けを残す、その点を強調して頂かないと…。先程、ご意見がありましたが、民間から提案が出てきてしまうと、あの広場が無くなってしまう可能性は大きいと思いますので、注意して頂きたいと思います。

(4) 街路灯の件

- ・次に県道 24 号線についてですが、以前平成 25 年度にも、やはり商店会が無くなるということで、沼間3丁目の同じ県道沿いに商店会が設置した街路灯が無くなるかもしれないとのことがありました。
- あの時も、沼間3丁目自治会の皆さんに立ち会って頂き、町歩きをしました。その時には市長にもお願いし、暗くならないように、資料にありますように、県に6灯の車道灯を付けて貰いました。また、逗子市も2灯の防犯灯を付けてくれました。
- いづれにしても、市長を始め知事の予算提案は10月ですので、次の9月いっぱい、住民自治協議会の皆さんとしてもなんらか結論を出して頂いて、是非とも市及び県に、要望を出して頂きたいと思います。

(5) 病院用地の件

- ・最後に病院のことで、先程市長のお話がありまして、109 床ということで、まだまだ予断を許さない状況です。
- 一方で、あそこは第一種低層住居専用地域といって、戸建住宅位しか建てられない土地です。そこに病院を建てるためには、用途地域を変更して、地区計画というのを二重で掛けないといけません。
- 第一種低層住居専用地域は、先ず用途地域を変えるだけで、(実は先日、路線価が発表されましたが)2 億円落ちてしまいます。さらに、地区計画まで掛けてしまいますと、あの土地は数十億円の値段があると言われていたのですが、タダになってしまいます。
- 病院が建つのであれば、土地の用途地域の変更は必要ですが、もし建たなかった場合は、我々の数十億円の価値ある土地がタダになってしまう恐れがあるということです。用途地域と地区計画の変更は今年度中に変えようというのが、今の逗子市の取組であり、非常に私は危機を感じています。是非とも皆様にご議論を宜しくお願い致します。
- 以上です。どうも有難う御座いました。

【Q&A】

- Q1: 今の話は、待ってください。タダになるといった誤った情報提供は、避けて貰いたい。
- 一般的に、第一種低層住居専用地域から第一種住居地域への変更は、用途緩和ですから、土地の価値が上がる筈です。それをいかにも下がるようなことは、間違っています。
- それが正しいというなら、ちゃんとエビデンスを出して下さい〔平井市長〕。
- A1: ※●△ * (聞き取れず)〔松本氏〕

〔磯部事務局長から〕

- ・松本さん待ってください。私たちはその辺の所に関して知識がないので、どちらが正しいかは、我々には分かりません。この件は、市議会で議論してください。
- ・最後に、本日お配りした地域づくり計画の資料は、各町内会、自治会内で、回覧をお願いします。

9. 連絡事項

- (1) 第 5 回代表者会議 9 月 22 日(土) 15:00~17:00 沼間小学校区コミュニティセンター
- (2) 次回役員会 9 月 14 日(金) 19:00~ 県営桜山ハイツ集会所

以上